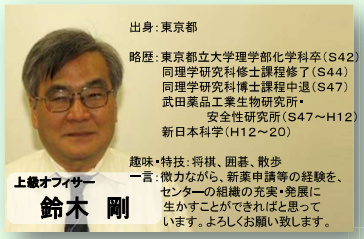
新スタッフ紹介

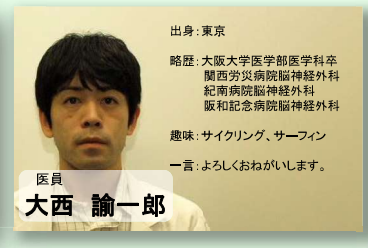


上級オフィサー
鈴木　剛

略歴：東京都立大学理学部化学科卒（S42）
同理学研究科修士課程修了（S44）
同理学研究科博士課程中退（S47）
武田薬品工業生物研究所・
安全性研究所（S47～H12）
新日本科学（H12～20）

趣味・特技：将棋、囲碁、散歩

一言：微力ながら、新薬申請等の経験を、センターの組織の充実・発展に生かすことができればと思っています。よろしくお願い致します。



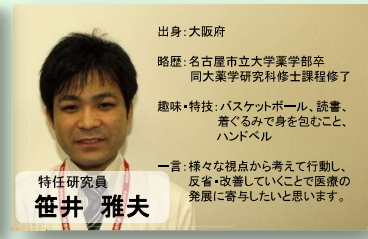
医員
大西　諭一郎

出身：東京

略歴：大阪大学医学部医学科卒
関西労災病院脳神経外科
紀南病院脳神経外科
阪和記念病院脳神経外科

趣味：サイクリング、サーフィン

一言：よろしくおねがいします。



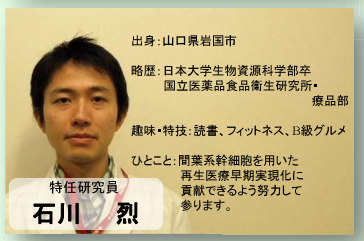
特任研究員
笹井　雅夫

出身：大阪府

略歴：名古屋市立大学薬学部卒
同大薬学研究科修士課程修了

趣味・特技：バスケットボール、読書、着ぐるみで身を包むこと、ハンドベル

一言：様々な視点から考えて行動し、反省・改善していくことで医療の発展に寄与したいと思います。



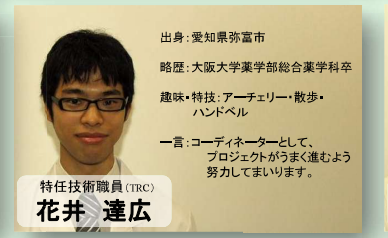
特任研究員
石川　烈

出身：山口県岩国市

略歴：日本大学生物資源科学部卒
国立医薬品食品衛生研究所・
療品部

趣味・特技：読書、フィットネス、B級グルメ

ひとこと：間葉系幹細胞を用いた再生医療早期実現化に貢献できるよう努力して参ります。



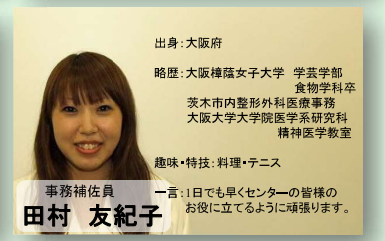
特任技術職員（TRC）
花井　達広

出身：愛知県弥富市

略歴：大阪大学薬学部総合薬学科卒

趣味・特技：アーチェリー・散歩・ハンドベル

一言：コーディネーターとして、プロジェクトがうまく進むよう努力してまいります。



事務補佐員
田村　友紀子

出身：大阪府

略歴：大阪樟蔭女子大学　学芸学部
食物学科卒
茨木市内整形外科医療事務
大阪大学大学院医学系研究科
精神医学教室

趣味・特技：料理・テニス

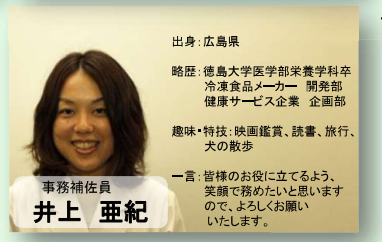
一言：1日でも早くセンターの皆様のお役に立てるように頑張ります。

活動予定

2009年6月

16日（火）
第14回阪大医療組織工学フォーラム
（18時～　大阪大学銀杏会館）

24日（水）
未来医療知財特別セミナー
秋元　浩
（日本製薬工業協会顧問）
「ライフサイエンス分野における知財戦略の現状と将来
～iPS知財支援プロジェクトを含めて～」



事務補佐員
井上　亜紀

出身：広島県

略歴：徳島大学医学部栄養学科卒
冷凍食品メーカー　開発部
健康サービス企業　企画部

趣味・特技：映画鑑賞、読書、旅行、犬の散歩

一言：皆様のお役に立てるよう、笑顔で務めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

未来医療臨床研究終了プロジェクトの紹介

未来医療センターでは、5月13日に未来医療臨床研究審査・評価委員会において終了が報告された眼科のプロジェクトを含め、既に3つのプロジェクトが終了しています。今回はこの3つのプロジェクトの内容と結果をご紹介します。

1.「ナビゲーション・ガイド反復的経頭蓋磁気刺激法による薬剤耐性の求進路遮断痛に対する治療」

脳神経外科　研究責任者　吉峰俊樹
主任研究分担者　齋藤洋一
研究期間2005年2月28日～2007年6月28日
症例数30例

脳、脊髄や末梢神経が損傷され、「知覚伝導路」が傷害されることにより生じる薬剤耐性の持続性の激しい痛みに対して、MR画像によるナビゲーションの下に頭皮の上から磁気刺激を与え、痛みを緩和する治療を行った。55歳以下では44.4%の症例に有意な除痛効果をみとめ、また、明かな副作用を認めなかった。

2.「虚血性視神経症に対する経角膜電気刺激を用いた神経保護治療」

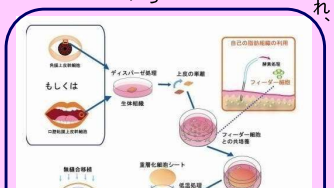
眼科　研究責任者　不二門　尚
研究期間2003年11月11日～2007年7月31日
症例数19例（20眼）

これまで有効な治療法の無かった虚血性視神経障害に対して、世界で初めてコンタクトレンズ型電極を用いた、網膜電気刺激による視神経の神経保護治療の臨床試験を行った。26%に3段階以上の視力の改善と42%に2倍以上の視野の拡大を認め、コンタクトレンズ装着による軽度の痛み以外に副作用を認めなかった。

3.「難治性角結膜疾患に対する自己培養口腔粘膜上皮シート移植の臨床試験」

眼科　研究責任者　西田幸二
研究期間2005年7月6日～2007年2月5日
症例数　6例

アルカリ腐蝕、Stevens-Johnson症候群、眼類天疱瘡など、角膜全体が結膜組織で被覆され、さらに角膜移植の成績が不良である難治性角結膜疾患に対し、温度応答性培養皿を応用して、患者自身の口腔粘膜を細胞源とし、さらに自己血清を用い自己脂肪細胞をフィーダーとした培養口腔粘膜上皮シート移植を世界で初めて行った（図）。本治療により、上皮の透明性は6ヵ月後には全例で改善し、全症例において6ヵ月後の時点で有意な視力改善を得、重篤な有害事象は認めなかった。



新規プロジェクトを募集しています

ご関心をお持ちの先生方は、お気軽に未来医療センターまでお問い合わせください。

問い合わせ先：大阪大学医学部附属病院　未来医療センター
〒565-0871　吹田市山田丘2-15TEL: 06-6879-6551　FAX: 06-6879-6549
E-mail: mirai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp　　http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/

MTR

Osaka University Hospital

未来医療センター便り

～春号～

2009

What's New

データセンター開設

未来医療センターでは学内外の信頼性が実施する臨床研究の確保又は品質管理に係るデータ管理、統計解析、報告書の作成支援、患者登録・割付、データ入力支援を通じて、現在、すでに約20のコントラストレーション・リサーチ支援を行っていますが、大規模臨床研究の支援も実施しています。本部門は臨床研究への登録、治療法の割付の実施・待ち受け・問い合わせなどがあります。

データマネジメント部門：本部門では臨床研究に係るデータ管理に係る業務の全般を行っています。本部門の活動としては、実施計画書についての視点からのデータマネジメントに関する事項（データマネジメント計画書の作成又はその支援、症例報告書様式についての視点からの作成及び助言、症例報告書様式の作成又はその支援、データベースの作成及び助言、データベース関連書類の作成、データマネジメント計画書の作成、データマネジメント計画書の受領及び保管、症例報告書の記載不備に関する問い合わせ、データの確認（読み合わせ等）、データマネジメント報告書の作成などがあります。

生物統計部門：本部門では臨床研究の計画、実施、解析における統計的部分に係る業務全般を行っています。本部門の活動としては、実施計画書についての統計的視点からの提案及び助言、目標症例数の設計、実施計画書（統計的事項）の作成、解析計画書、データの集計及び解析、プログラミング、データの作成、解析報告書の作成、統計コンサルタントなどがあります。

ご関心をおもちの方は未来医療センターまでご連絡ください。

iPS細胞臨床研究センター始動

2007年11月のヒトiPS細胞樹立の報告がなされて以降、幹細胞研究は日覚ましい進展を遂げています。未来医療センターでは、「幹細胞バンク」を設立し、特に脂肪由来幹細胞のバンキングと供給を進めてきました。昨今の幹細胞研究の活性化に伴い、iPS細胞を用いた研究に対する学内外のニーズも数多く寄せられ、これらニーズに応えるべく、平成21年度よりiPS細胞研究拠点を未来医療センターに設置することになりました。

＊学内連携：診療科からのニーズ相談、医学倫理委員会申請支援
＊iPS細胞作製・培養技術指導：診療科からの細胞提供、iPS細胞作製・培養技術指導、比較対象としてのヒトES細胞の利用
＊産学連携：企業、診療科間のニーズシーズマッチング、成果についての権利関係相談
＊iPS細胞バンク：共同研究利用

ご興味のある方は、未来医療センターまでご連絡ください。

セルプロセッシング　アイソレーター導入により様々な再生・細胞治療に対応

大阪大学歯学部口腔治療学村上伸也教授らの「脂肪組織由来未分化間葉系細胞を用いた次世代型歯周組織再生療法開発」の実施に向け、セルプロセッシングアイソレーターが歯学部に設置されました。この装置は閉鎖系の作業空間と細胞培養装置、観察装置等が一体化したものでCPCを利用した臨床応用への新しい展開が期待されます。

同様のセルプロセッシングアイソレーターが未来医療センター内にも一台導入されました。

装置内部の完全滅菌が可能であり、感染症症例細胞組織製剤の調整、動物由来フィーダー細胞（NIH3T3）の取扱いに使用する予定です。新しい設備の導入により、CPCを利用した臨床応用への新しい展開が期待されます。

医工学治療学会　第25回学術大会が開催されました

初夏を思わせる好天の満開の桜のもと、4月10日～12日、大阪国際会議場において、澤芳樹大会長による医工学治療学会第25回学術大会が開催され、多くの専門家が参加しました。医工学治療の新しい方向も垣間見え、また開かれた学会をめざす試みも随所に織り込まれました。

大会長講演では、未来医療を考える上で、いま一度、大阪大学医学部の祖、緒方洪庵や道修町に育まれた自らの遺伝子に触れ、示唆に富む内容でした。

最後に行われた未来医療公開市民シンポジウムでは、「医療が救う、ひと　おおさか　ちきゅう」をテーマに、角淳一毎日放送パーソナリティをはじめ、各界からのパネリストによる、『大阪から元気を発信』の議論が活発に行われ、非常に好評でした。

高度医療評価制度申請のサポート開始

未来医療センターでは臨床応用に必要な各種支援を行っていますが、この度、高度医療評価制度申請に関わる相談、申請書類作成等のサポートを開始しました。

ご関心をお持ちの方は、お気軽にご相談ください。

医療の未来を探検　～ボーイスカウトの方が来られました～

第7回ベンチャースカウト大会プレ大阪基地医学コースとして、3月26、27の両日、日本ボーイスカウト大阪連盟所属の13名が5つのコースに分かれて、大阪大学の医学の現場で行われている最先端の研究や未来医療の可能性を探索・体験するという試みがなされました。

未来医療センターでは3名の希望者に、「内視鏡外科手術トレーニング」、「ロボティクス手術シミュレーション」、「細胞培養実験」、「いのちの鎖」のコースを実施し、救命救急や手術室に向き合う命への対応と、新しい治療法として日々研究が進む再生医療を支える細胞工学的技術実習などを体験して頂き、意見交換を行いました。

後に続こう！　澤芳樹教授、平成21年度科学技術分野文部科学大臣表彰科学技術賞受賞

「細胞シート工学技術の開発とその臨床応用に関する研究」の業績により、岡野光夫教授、大和雅之教授、清水達也准教授（東京女子医大）西田幸二教授（東北大学）とともに受賞され、4月14日に、表彰式が行われました。

西田幸二先生　岡野光夫先生　清水達也先生
澤 芳樹先生　大和雅之先生